

医療事業戦略：事業基盤とポートフォリオの強化

事業開発

コーポレート・ベンチャー・キャピタル(CVC)の設立

当社が2019年に発表した経営戦略では、医療分野を中心とした既存事業への成長投資および機能強化への投資による有機的な成長をベースに、事業戦略に基づくM&A等を実行することで、年率5～6%の売上高成長率を持続することを目標としています。近年、技術革新のスピードは加速しており、デジタル、AI、ロボットなどの新しいトレンドが医療技術の状況を変えつつあります。

当社はグローバルで事業開発チームによる活動を強化しており、医療分野の注力領域におけるM&Aを実施、社内の研究開発の推進に加え、社外における機会の探索を強化しています。このような機会を活用し、当社が成長する機会を創出するため、コーポレート・ベンチャー・キャピタル・ファンド「Olympus Innovation Ventures」を2021年10月に設立しました。

当社は、「Olympus Innovation Ventures」を、包括的な事業開発プログラムの一環として捉え、アーリーステージの企業

や新興企業にマイノリティ投資を行うことを想定しています。これにより、アーリーステージの企業との関係を構築し、当社技術と関連性のある魅力的な起業家チームとのパートナーシップの育成を支援することを目指しています。

「Olympus Innovation Ventures」は、COO、CSO、CFO、CTOで構成される投資委員会によって管理され、投資委員会は、投資戦略の策定および監督を行い、投資決定に対する100%の権限を有します。また、四半期ごとにグループ経営執行会議に実績を報告し、年1回取締役会にも報告を行います。

組織上「Olympus Innovation Ventures」は、グローバルの事業開発チームのもとで運営されていますが、ポートフォリオマネジメント、案件の遂行等の観点でのメリットを追求し、実務的な運営は、経験豊富な外部のコーポレート・ベンチャー・キャピタルのファンドマネージャーに委託されています。

「Olympus Innovation Ventures」の概要

初期投資総額	5,000万USドル。必要に応じて追加投資も想定
投資対象の技術が関連する領域	主に、消化器科、呼吸器科、泌尿器科における、機器本体および関連するデジタルツール・技術(データ・アナリティクスや臨床ワークフロー等)
ステージ	創業期・成長期のグローバル企業を中心にあらゆるステージの企業への投資を想定

「Olympus Innovation Ventures」を通じて以下の実現を目指しています

- 将来のM&Aターゲットのパイプラインの構築
- 将来の成長のための有望な新市場の特定
- 医療技術革新のエコシステムにおけるオリンパスの知名度向上
- 技術、医学、治療提供の各分野における重要なトレンドの発見
- 投資資本に対する財務的リターンへの創出

「Olympus Innovation Ventures」を通じた投資実績

CVCを通じた最初の案件として、Virgo Surgical Video Solutions社に出資を行いました。同社のミッションは、内視鏡検査に係るAIツールの開発により、医療における患者さんのアウトカムと臨床ワークフローを改善することです。人工知能を活用したテクノロジーが、医療の質、そして医療へのアクセスを飛躍的に向上させる世界の実現に向けて取り組んでいます。

Matt Schwartz氏
Virgo Surgical Video Solutions社
CEOからのメッセージ



Virgo社は、「Olympus Innovation Ventures」ファンドを通じてオリンパスと提携できることを嬉しく思っています。オリンパスの内視鏡イメージング技術における専門性と、Virgo社のクラウドベースの内視鏡ソリューションにおける強みは、親和性が高いものです。この連携により、今後複数年にわたって、両社に相互に利益をもたらす機会が生まれることにとっても期待しています。

シングルユース内視鏡

リユース内視鏡およびシングルユース内視鏡に対する基本認識

当社では、2019年11月に発表した経営戦略のうち、内視鏡分野でのリーダーシップをさらに強化するための重要な戦略的取り組みとして、リユース内視鏡に加えて、シングルユース内視鏡で製品ポートフォリオを補完してまいります。

リユース内視鏡は、高度な画像処理や操作性に対する臨床上のニーズが高いことに加え、病院にとっての経済的な効率性から、今後もさまざまな手技の第一選択肢となると考えています。

一方、シングルユース内視鏡は、特定の手技に関する選択肢として急速に普及しており、シングルユース内視鏡の市場は、2020年から2030年の間に、毎年15～18%の成長が見込まれています。

当社は、内視鏡の領域におけるリーディングカンパニーとして、画質、操作性、人間工学に係る知識・経験や、マーケットにおける圧倒的な納品実績を強みとして、シングルユース内視鏡の開発に取り組んでいます。

*成長率見直しは自社調べ

当社においてシングルユース内視鏡を導入予定(販売中)の領域(2022年9月現在)

Focus on the Customer

当社は市場や顧客からのニーズを満たすために、内視鏡のポートフォリオを強化するにあたり、シングルユース内視鏡が必要であると認識しています。

感染管理に対する要求

耐久性に対する要求

症例特有の需要
(緊急症例、ワークフロー改善)

オリンパスのゴールは、適切な内視鏡を提供し、世界中のあらゆる患者さん、手技、医療現場にとっての内視鏡医療のパートナーになることです。

シングルユース内視鏡における注力分野

十二指腸鏡・胆道鏡
(消化器科)

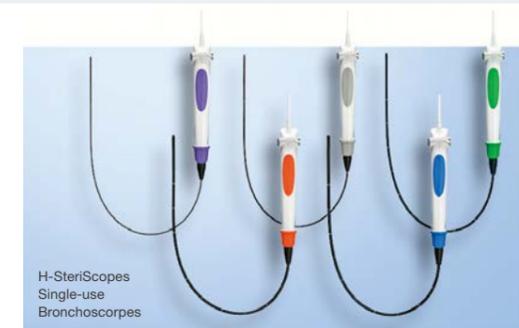
尿管鏡
(泌尿器科)

気管支鏡
(呼吸器科)

米国にて販売中

2021年4月、オリンパスは米国にて当社初のシングルユース気管支ビデオスコープ H-SteriScopes™の販売を開始し、呼吸器分野のポートフォリオを拡大しました。

5つのモデルからなるこのシングルユース気管支ビデオスコープは、ワークフローおよび生産性を高めながら、医師が求める患者の診断、治療をサポートする高い性能を有します。



H-SteriScopes™は、オリンパスの100%子会社であるVeran Medical Technologies社と、Hunan Vathin Medical社との提携による商品群です。日本国内では、当社によるH-SteriScopes™の取り扱いはありません。